

広報かわにし

— 人口の動き —

12月1日現在

男	5,941人
女	6,152人
計	12,093人
世帯数	2,574世帯

発行所 川西町役場 発行者 川西町 <町長 根津正三>
 編集 川西町役場企画室 印刷所 白南風社 定価 1部5円



優良青少年団体「木島子ども会」(四ページの記事参照)

◆十二月の行事

- 一日 職員辞令交付式
- 四日 行政懇談会
- 五日 郡議会議員会 於津南町
- 五日 へき地振興会 於仙田
- 六日 田代部落閉村式 於上野
- 六日 議会土木厚生委員会
- 六日 多収穫競作会表彰式
- 七日 議会総務文教委員会

- 七日 納税組合長会議
- 八日 国鉄四期工事納入式 於小千谷
- 十日 民生委員会 於小千谷
- 十日 根深溜池竣工式
- 十一日 町長出陣
- 十二日 損害評価会
- 十三日 町長上京(十五日まで)
- 十八日 仁田溜池竣工式
- 二十日 町議会(二十一日まで)
- 二十三日 農業委員会

年末の支払い

川西町役場への請求書は遅くならないように提出してください。特別のものを除き、毎月十日と二十五日に、信組および各農協預金口座に振替支払をしておりますが、遅くなると、二重払いや不明になってご迷惑をおかけすることになります。

特に、年末の支払いは、十二月二十日までに主管課・係あてに提出をお願いします。遅れますと翌年払いになりますのでご了承ください。

仙田に農集電話

仙田農協では農村自動電話の開設を促進していたが加入台数は四百九十八台にまるとり、工事も順調にすすんで、きたる十五日には通話を開始できる見通しとなった。ダイヤル式で、農村自動電話内相互の通話だけでなく、0をダイヤルすれば交換手が出て、市内通話や市外通話も自由にできるしくみとなっている。

産業関係の表彰

十一月九日、上野農業センターで開いた魚沼地方造林推進大会で地元から根津 浩さんが造林事業

広報スポット

この際、家庭の表札をはっきりした文字で書いておきましょう。

火災予防

火災使用の増加にともなう、おそろしい火災シーンになりまし。

絶対には火災をおこさぬよう気を付けましょう。火災は、火の不始末による人災です。

郵便貯金のおすすめ

年末はボーナスなどで最も貯蓄のできる時。郵便局の定期貯金は、国が経営する有利な利殖型の貯金です。財産づくりは「年末年始郵便貯金増強運動」で。

コーモリの忘れ物

九月十四日故中村杜吉氏町葬時男物折りたたみ式一本庶務係保管

に対する功績を認められて表彰された。

年賀状の扱い

特別取扱期間は十五日から二十八日まで。お早く。

また、十月十七日中里村で開かれた中魚沼治山林道協会総会の席上でも、藤沢の茂野新治さんが功労者として表彰を受けた。

できれば家族全員の名前もいれておいてください。

火災使用の増加にともなう、おそろしい火災シーンになりまし。

絶対には火災をおこさぬよう気を付けましょう。火災は、火の不始末による人災です。

年末はボーナスなどで最も貯蓄のできる時。郵便局の定期貯金は、国が経営する有利な利殖型の貯金です。財産づくりは「年末年始郵便貯金増強運動」で。

九月十四日故中村杜吉氏町葬時男物折りたたみ式一本庶務係保管

町議会報告

根津町長が所信を表明

収入役には増田氏を選任

根津新町長就任後初の定例議会が十一月十四日に招集され、別項のとおり新町長の施政方針ともいべき所信が表明された。また、注目されていた収入役人事については、収入役職務代理者の増田亨氏を後任収入役に選任する案が提出され、満場異議なくこれを承認した。

就任のあいさつ

収入役 増田 亨



十月二十八日の町長選挙で前収入役根津さんが当選し、後任収入役としてわたくしが選任されました。その責任の重大さを、いまさらながら痛感いたしております。

町民のみなさまのとうとい税金をお預かりし、それを予算どおり支出してゆく。簡単にみえても一円の誤りも許せぬ重要な仕事です。収入役室内一同、こころを新たにいたしまして、町のためにご奉仕いたしたい決意でありますから、どうぞご協力をお願いいたします。

院議員補欠選挙費等百五十三万円にのぼる一般会計補正の専決処分承認案が上程され、いすれも原案どおり可決もしくは承認された。

医療施設運営・千手水道

建設両特別委員会を選任
本会議終了後全協議会を開き六項目にわたる当面の問題を協議

し、診療所の赤字問題と千手水道建設問題について医療施設運営特別委員会及び千手水道建設促進委員会を選任する当局案を承認した

- 特別委員会
委員 和久井精一・平野圭二・田中三郎・小林中一・内山常治
和久井光興・登坂敬恒・丸山恒正・馬場下輝・丸山茂吉・青木定太郎・関口重作・高橋吉太郎・数藤孝平・田中澄治・藤原英策・片桐狂太・蔵品茂雄・丸山富司・丸山宗太郎・羽鳥朔市・役場から町長・助役・収入役・診療所所長・両保健衛生課長・千手診療所事務局長・橋診療所事務局長 八計二十八名

根津町長 公正で計画性ある町政を

所信要旨

中村前町長さんが死亡されたときに、ある新聞に「西の空一等星が一つ落ち」という句が載って町意が表されていたが、誠に巨星落つという感じがいたしたものであります。その後継者としての私は誠に小さな星ではあるが、川西市をくまなく照らすような、強くあるいは柔らかに照らすような星になりたいと思っております。

まず機構改革を

私の当面する所見の一端を述べさせていただきますが、私の抱負としては、選挙戦に掲げた五つの項目「均整と調和のとれた計画性のある町政の確立」、このほか四つの柱を基として積極的町政と取り組んで行きたいと考えています。

勧奨退職は

五十七才で

問題になっていた職員退職勧奨制度については退職の年令を満五十七才とし、その生年月日の属する年度の三月三十一日を以て退職するよう勧奨する制度にしたいと考えています。用務員、給食婦等に達したときに退職したくよう勧奨する考えである。

診療所問題等は

前向きで

具体的な事業の推進については本年度はすでに決定した事業の完全実施を図ることを主眼とし、その他補修とか、役場内の模様替え雪上車の問題等にとどめなければならぬと考えており、具体的に協議したいと考えています。昭和四十二年は、既設のもの継続事業等のはか、町内視察の結果に基づきそれ

それ策定してゆきたい。開場整備事業の推進、へき地総合開発計画の樹立等の大きな将来の問題については着々その準備を進めて、実施に遺憾のないようにしてゆきたいと考えています。国鉄の第四期工事が再開されることになっているが、この事については地元の方々と協力して補償関係、治安関係等に努力し、工事の円滑な推進に協力しなければならぬと考えています。問題の両診療所の再建整備問題については、千手水道建設の問題については、それぞれ特別委員会を設置して早急に前向きの実行に移りたい。ことに千手水道の建設については非常に大事なことで昭和四十二年度は、その調査研究、被褥世帯との交渉、受給世帯との話し合い等を完全にやって円満のうちに話し合いをつけ、昭和四十四年度の事業として着工したいと考えています。

睡眠と環境衛生

わたし達が一日中で最も長く、七時間以上は生活するであろう寝室をおもつてはいませんか。多くは日のあたらないシメシメした北むきの位置に、人目をばはかるようにしているのがこれまでのあり方でした。

寝室は夏は涼しく、冬は暖かくしかも乾燥していなければならぬのです。室内の温度は、昼間の生活におけるよりも低いほうが好適で、十三〜十七度くらいが基準とされています。

わたし達のからだからはたえず水分が発散されています。人体は熱のラジエーターであると同時に放湿器でもあります。

一時間におよそ五十グラムの水分を発散していますから、八時間の睡眠では四百グラムの水分を放出していることとなります。

もし、ふたりの人が一室に寝るとすれば、五合ちかくの水分が毎夜出されるわけです。寝具がしめりやすいのは無理からぬことといえます。

寝室はできるだけ日を入れることと通風をはかるべきです。タタミの下に新聞紙などを敷き、ときどきとりかえることです。

ふとんと枕

睡眠時には、ふとんまたは毛布などで身体を九パーセントをおおっています。ねどこの湿度は三十一〜三十三度くらいで、湿度は三十五〜五十パーセント程度です。

ここちよく眠るためには次のことが必要でしょう。

(一) 寝室はなるべく乾燥し、やわらかく、肌ざわりがよいこと、ときどき日光照射をします。

(二) 掛けふとんより敷ふとんを厚くするほうが保温上よいと思えます。

(三) 寒いときには足部を特に暖かくします。そのため、あなか類を使用するのもよいでしょう。頭寒足熱が大切なことです。

(四) 首や肩の部分をおおおうように注意して、冷気の侵入を防ぐ。

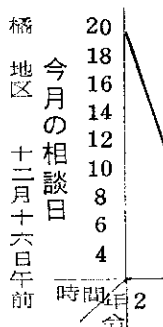
(五) 立仕事などで足が疲れたとき足部を高めにして休むことは心臓を楽にしてよいことです。

(六) 寝具は、適度の吸湿吸水性をもったものでなければなりません。

保健婦だより

枕は、頭との接触が点と線の交わりすぎないことさえありますから、低く、やわらかくするほうが良いと思われまふ。

おとしりがよく眠れないといいますが、枕をかえてみるのも方法でしょう。



「国保」医療費の値上げ

実質約四パーセント

保険診療の医療費は、出来高払い点数方式になっていますが、その診療点数も、四十年一月に約十三パーセントの引き上げ以後、大きな改訂はありませんでした。その後の社会、経済の動きから本年十月一日に、総医療費の三八パーセントにあたる薬価の引き下げをおこない、こんどは、十二月一日から約七パーセントを引き上げます。実質的には十月の引き上げと差し引きで約四パーセントの値上がりになります。

今回の引き上げは、診療費を技術尊重へ移行する措置として、内容的には手術料が平均八十パーセント引き上げられていますが往診料等はそのまま据置きになりました。みなさんの医療費がただちに保険料に關係してくる、わたしたちの国保です。

ことに今回の医療費改訂は、病気がケガの重いとときに要する費用に、その引き上げの負担が多くなっていくようになります。日常の健康に充分な注意をくばり、病気はできるだけ早く、軽いうちに治療をうけるようにしてください。

役場職員への願ひ

川西町職員労働組合は、役場や診療所、幼稚園、保育園などに勤める百十余名の職員で組織されている。その組合の世話役をおおせつかったとき、活動方針を決めるに当たって、職員が日常の勤務条件や身分、待遇についてどんな希望や不満をもっているかを調べてみた。ことしの春のことである。

町のみなさんには申しわけないが、他町村なみの給与を支給してもらいたい、という声が圧倒的であった。さっそく県内各市町村のデータを集めて比較検討したところ、川西町職員の平均給与は、県内百十五市町村のうち、自治労加盟単組の中で最低線をさまよっていることがわかった。ピリから願

ひに数える山吉志村、佐和田町、越路町、新穂村、妙高々原町、名立町の次が川西町であった。全職員の七十六パーセントが定期的な人事の交流を熱望していた。現況は、ひとたび配属されたら半永久的に同一職場にいなければならず、上がつかえて来進もできず、庁内の空気がよんどんて仕事に励みがでない。これらが、町政運営面に大きなマイナスになっているから一日も早く人事の交流をはかってもらいたいということであった。

診療報酬点数表新旧対照表 (単位円)

	甲表		乙表	
	旧	新	旧	新
初診料	390	430	240	280
加算乳幼児	110	110	114	114
時間外	20	20	30	30
深夜後10~前6	320	320	238	238
再診料	70	100	30	30
基本(片道2km以内)	240	240	250	250
加算(2km毎に)	100	100	105	105
夜間	100/100	100/100	所定の100/100	所定の100/100
深夜・難路	200	200	200	200
暴風雨	100	100	100	100
入院料	510	570	390	450
加算給食(基準)	280	320	283	320
看護(1類)	180	210	130	210
寝具	40	50	46	50
6才未満児	50	50	50	50
虫垂炎(盲腸)手術料	4800	8600	3780	6800
胃切除(胃潰瘍)	11800~16100	21200~25000	9072	16330
痔	860~3700	1500~6700	454~1512	820~2720
先天性股関節脱臼	1400~13900	2500~25000	3780~10584	6800~19050
蓄り症(1回に付)	3700~7500	1400~15500	1135~3780	3540~6800

また選考でいられた中村町長にその実態を申しあげ、早急に善処してくれるようにお願いした。そつた。たんたんとして未練げもなく後進に道をゆずることを快くご承

知たさったのであった。自分ならあの態度をとれたらどうかと思いつた。同時に、それを断行しなければならなかった根津町長のご心中はおつらかったことを察せられた。十二月一日付で、機構改革にもなる第一次の人事交流が行なわれた。それは、根津町長が中村さんたえの意志を継ぎ、職員に期待をたえたといえるものであった。

春以来の、いや、積年の悲願でもあったハリのある職場はついに実現をみたのである。いま一つの願ひ、それを実現してもらおうにノボンを。後、住民全体のよき奉仕者としていっそう職務に専念しなければならぬ。町のみなさんから、役場の業はみんながよくやってくれて、ますすう

いわれることが先決であろう。

新しい役場機構と職員表

<42・12・1>

○印は課長不在のとき、その事務を代行するものである

町長 根津正三	総務課長 高橋友善	庶務係長 ○滋野定良 押木秀治 関口良平 五十嵐一男 根津英子 星名けい子 酒井三治 井上マサ
	企画室長 丸山精二郎	文書係長 星名四郎 丸山京子 清水好子 吉楽あけみ 内山早苗 住民係長 南雲文八 北村秋江 櫃間ヒサ 小林カツ子
	産業課長 南雲春雄	○小林 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	財政課長 田口一朗	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	社会課長 数藤信善	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	土木課長 星名仁作	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	国民衛生課長 平沢徳松	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	国土調査課長 丸山敬一	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	出張所	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
	収入役 増田 享	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎
教育委員会	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎	
会議議長	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎	
農業委員会	○小川 力 北村準一 南雲直秀 農林係長 和久井守 山田五作 宮昭一 羽鳥利昭 丸山寛治 高橋己一 大海基二 大海均 商工係長 ○野沢新一 農業共済係長 星名栄吉 上村健一 須藤秀雄 高橋和子 園場整備係長 富井相四郎	

※診療所・保育園等の職員表は次号で掲載予定。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

高橋 延枝 宇平長女 坪山
高橋 芳美 力夫長男 高原田
大塚 聡子 甚一長女 伊友
羽鳥 昭宏 昭二長男 伊友
高橋 保 三榮二男 三領
村越 美佐子 新一長女 野口
村越 歩 嘉一郎長女 野口
小川 靖之 直克長男 赤谷
登坂 幸恵 求二女 岩瀬
たかさご—ご円満に

新婦 平野 政満 東善寺
新婦 滝澤 アイ 眞人町から
新婦 柄澤 勝好 沖立
新婦 高橋 アイ 中仙田から
新婦 小林 晃 中屋敷
新婦 庭野 純子 十日町から
新婦 丸山 幸吉 木島
新婦 柳 ユキ子 松代町から
新婦 小海 久男 木島
新婦 清水 和子 中屋敷から
新婦 中條 敏吉 木島
新婦 数藤 稲子 沖立から
新婦 清水 正 木根岸から
新婦 小海 春江 小根岸から
新婦 瀧澤 実 神社町から
新婦 安本美智子 神社町から
新婦 小海 時夫 発通から
新婦 数藤恵子 発通から
新婦 星名 正一 沖立
新婦 根津 節子 十日町から
新婦 市川 良夫 神社町から
新婦 羽鳥 則夫 友から
新婦 高橋 則夫 中から
新婦 高橋 ミサ 田中から

新婦 高橋 淳一 上野
新婦 上村ミサオ 上野から
新婦 松澤 俊夫 上野
新婦 太田 眞代 中央町から
新婦 小林 久吉 元町から
新婦 小林きぬい 元町から
新婦 若山 忠 新町新田
新婦 南雲 フヂ 中屋敷から
新婦 水落 至 仁田
新婦 小幡美智代 仁田
新婦 井口 一夫 仁田
新婦 小海美千代 十日町から
新婦 山口 要 仁田
新婦 山口 良子 仁田
新婦 丸山 正男 根田から
新婦 丸山 重信 根田から
新婦 丸山 榮子 眞人町から
新婦 山家 信芳 木落
新婦 田口 政子 木落
新婦 佐瀬アヤ子 津若松から
新婦 和久井音作 木落
新婦 和久井ユキ子 木落
新婦 佐藤 直春 藤澤
新婦 高橋 キク 高原田から
新婦 青木 皎 田戸
新婦 入田 ナツ 稲葉から
新婦 押木 篤美 田戸
新婦 村越 幸江 野口から
新婦 中村 謙治 大白倉
新婦 田中 澄江 小園町から

昇天—ごめい福を祈る

南雲 益郎 四郎兼 五九
田中 権平 仁田 五九
中村タツノ 大白倉 三九
須藤 基 四郎兼 二九
滋野 誠二 野口 八ヶ月

第二回青少年のつどい新潟県大会(十一月十九日長岡市で開催)で、結成後五年目をむかえた木島こども会が優良青少年団体として表彰された。会員数三十三名。表彰団体のうちふたつが中央に推せんされたが、木島こども会もそのなかに選ばれている。

役場年末年始 二十八日ご用納め二十九日—一月三日までやすみ。

かわにし俳壇
太田白南風選
小白倉 江口 凡石
季節風止めは頻りにみぞれくる
夕時雨水路溢るる水白し
和歌山 金子 洋石
眉ほこり払ふて焚火はなれ来る
初冬や干柿匂ふ軒日向
大倉 中條 鉄女
霜柱踏んで夫とスコを振る
出稼ぎのあとひっそりと冬かこい
発電所通り 小川 越人
夜の炬燵片言の手を主役にて
遊園地ひっそりとして曇降る
新潟市 南雲 文峯
銀杏散るさながら黄蝶舞うごとく